

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372600979
事業所名	グループホーム 虹の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2) 町内会に加入し、地域の敬老会や小学校行事、文化祭に作品出展など積極的に参加している。「ふれあいの会」はチラシを地域に配布し、毎回大勢が集う恒例の催しとなっている。生活支援ボランティアによるレクリエーションや傾聴、社交ダンス、ハンドケアセラピーまた、中学生や高校生の体験学習や実習生も受け入れている。近隣の散歩や買い物などに出掛け、地域に住む人たちとの交流を深めている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3) 家族や民生委員、市議会議員、地域包括職員の参加を得て年6回実施している。事業所の運営や活動状況報告、入居者の生活状況の紹介している。感染症や防災訓練、ふれあいの会などについて協議している。意見や提案等はその場で話し合ったり、職員会議などで協議してサービスの向上に活かしている。会議に参加できなかった家族には、議事録を送付して会議内容を報告している。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4) 担当窓口とは、申請等の代行業務、活動報告などを伝え良好な協力関係を深めている。運営推進会議に地域包括の職員が毎回参加し、情報やアドバイスを得ている。連絡協議会や事業者集団講習会にも参加している。また、「東三河ほいっぷネットワーク」の「電子連絡帳システム」を利用して市の情報入手や事業所間の情報共有、医療連携など協力体制を築きサービスに反映している。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6) 入居者からは日々のケアの中から思いを聞き、意見や要望などは連絡ノートに記録し、ミーティングで検討してケアに反映させている。家族とは、面会時や行事の折に意見や要望を聞き、ケアや業務改善に役立っている。入居者の様子を担当職員が毎月書面で報告し、年6回発行する「グループホーム虹の家かわら版」は行事の写真やコメント、予定などが記載され、家族に安心を届けている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	-	-	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○